

みんなで笑って泣いて迎えた 卒業という名の“スタートライン”

思い出あふれた3年間 輝く未来へ
さあ！希望の翼を広げよう



嘉数中学校



宜野湾中学校



新たな一歩！希望と夢の花々よ
まだ見ぬ世界で咲き誇れ！



たくさんの「ありがとう」が
生まれた卒業式

中学校生活でたくましく成長した卒業生は、3年間の思い出と感謝の気持ちを胸に、卒業式に臨みました。

宜野湾中学校では、卒業生を代表して12名が、共に学んだ仲間たち、在校生、先生方、保護者の方々へ感謝の思いを込めた門出の言葉を述べました。

嘉数中学校では、新里哲太さんが「みんなと出会い、同じ時を過ごせて本当に良かったです。また、最後まで親身になって指導してくれた先生方、ありがとうございます。そして、私たちの一番支えになってくれたお父さん、お母さん、心から感謝しています。ありがとうございます。ありがとうございました」と卒業生を代表してあいさつを行いました。

卒業式という門出の日を迎えた卒業生たちは、3年間の思い出を胸に、新たな未来への第一歩を踏み出しました。

3年間ありがとう！



3月10日(土)、市内中学校の卒業式が行われました。多くの父母や祖父母、家族、関係者などに見守られ、卒業生たちは卒業証書を受け取り、3年間過ごした学び舎を後にしました。

※毎年輪番で取材をさせていただいています。今回は、宜野湾中学校と嘉数中学校を取材しました。来年は普天間中学校と真志喜中学校の取材を予定しています。あらかじめご了承ください。

市内中学校 卒業式

